



## 土木科の挑戦

### 田原第2団地に階段を

7月8日、梅雨の合間の蒸し暑い日、土木科の3年生18人が、田原第2団地に集合しました。

高齢者などが、花の手入れなどのため、裏庭に行く時に、坂が急で降りにくいため、田原第2団地の入居者たちが解決を町に要望していたところ、SPHの実習の一環として、土木科の生徒が階段を作ろうと立ち上がったのです。

全部で8か所の階段を設置する予定とされていますが、山口美紀先生、石井真一先生の指導の下、この日は6か所の作業を行いました。

最初は、慣れない作業に戸惑っていた生徒たちも、後半になってくると、作業効率が上がっていきました。土が崩れやすい場所など、設計図面と現場状況が違い、予定通りにできない箇所もありましたが、先生の指導を仰ぎながら臨機応変に対応していました。

作業後に道具を洗う時は、高校生らしく水を掛け合ってはしゃいだりもしていましたが、最後は、確認に来た町営住宅課の職員に、礼儀正しくあいさつをし、この日の作業を終えました。

この日は完成まで至りませんでしたでしたが、生徒たちは、夏休み中も田原第2団地に集まり、仕上げを行います。

また、2学期には、砥川第一団地で「みんなの菜園」整備に挑戦します。